

若葉小学校 学校図書館指導

1 目 標

読書力の向上と読書の習慣化，定着化を図り，考えたり，感じたりする能力を高める。

2 方針

- (1) 児童の読書力の向上と読書の習慣化及び情操の発達を図るために，読書の奨励，指導を行う。  
(読書)
- (2) 図書室や学年文庫の運営については，図書委員会の活動を生かしながら，学級については，学級の図書係を生かしながら，自主的に運営できるようにする。  
(運営)
- (3) 学級活動における「図書室の利用指導」では，図書室運営と学級活動を結びつけ，図書室の正しい利用の仕方やマナーを身につけることができるようにする。(公共心・マナー)
- (4) 各教科やその他の学習活動や調査，研究のために必要な学習の図書を提供する。  
(情報提供)

3 読書（読み方）指導

(1) 指導上の留意点

望ましい読書習慣や態度を養うと共に，読書生活を向上させるために，計画的に指導する。読書を通じて情操教育を行う事が第一の目的であるが，以下の効果も期待できる。

静かな時間の中で集中力を養う。

学力の向上

- ・文章を読むスピード
- ・漢字
- ・語彙力
- ・想像力
- ・読みながら考える力
- ・資料活用能力
- ・読解力

豊かな心と人間関係

- ・色々な事への感動
- ・人の痛みや苦しみの理解
- ・思いやり
- ・視野の拡大
- ・将来の夢や希望
- ・自分を見つめる時間

習慣と継続の力の大きさの認識

自主性・主体性の育成

- ・自分の力にあったもの
- ・必要なもの
- ・個性にあったもの
- ・学びたいもの（知りたいもの）

習慣化に向けて

いつでも本を読める状態を作る

- ・1冊は手元に置いておく。（テストが終わった時 / 給食の準備時間）

色々な本に興味を持たせる。

- ・子供による本の紹介（帰りの会でのスピーチなど）
- ・おすすめカードによる紹介。
- ・学級での取り組みがわかるように掲示物などに工夫をする。

(2) 各学年の目標

1・2年	3・4年	5・6年
楽しんで読書しようとする態度を育てる  ・ 易しい読み物に興味をもち読むことができる。 ・ 易しい読み物の読み聞かせを通して、読書を楽しもうとすることができる。	幅広く読書しようとする態度を育てる  ・ たくさん読むという読書の量的な向上をめざすことができる。 ・ 目的に応じていろいろな分野の読み物（説明的な題材や詩等）を読むことができる。	読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる  ・ 読書の量や質を高めるため、より主体的に本を選ぶことができる。 ・ 本の内容や筆者の意図を簡単に押さえ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(3) 朝読書

時間帯 8:00～8:10（月、水、金曜日）

方法 毎朝、始業10分間、全校一斉に各自がそれぞれ前もって選んでおいた好きな本を、各教室で読む。児童と教師が同質の時間を共有する。

- ・ 事前に図書室か学年文庫から、代本板を利用して本を借り、机の中に準備しておく。読書のための本を家から持ってきてても良い。
- ・ 10分間、毎日続ける（3日間で30分）そのためにも、自分の能力に応じた本を選ぶ。
- ・ 読む本は、何でも良い（まんがと雑誌以外）

留意点

- ・ 自分で読んだ本を紹介し合う場などを工夫してみる ～ 帰りの会 等
- ・ 低学年の場合、最初は読み聞かせから始めてみる。
- ・ その子に合う内容のものを探すのを教師が手伝ってあげる。
- ・ 全校で取り組んでいるという勢いで個々の児童を動かす。
- ・ 負担と感ぜさせないようにする。

(4) 家庭との協力・連携

- ・ 「読書デー（ウイーク）」、「夏休み読書カード」など、家庭でも本を読む時間を設ける

など、家庭への協力を求める。…資料参照

(5) 評価

本の読み方について、学年に応じた指導を行い。頑張っている子が認められる場を設定する。

- <例>
- ・ 「読書貯金通帳」をもつ。
  - ・ 「読んだ本の紹介カード」や「読書感想文」を書く。

(6) 参考資料

**読 書 貯 金 通 帳**

年 組 名 前

例

日にち	題名	読んだページ数	読み終わったかんそう
4 / 9	ズッコケ三人組		八カセのかつやくがすごかった。
	P 1 ~ P 3 6		

4 学校図書館運営

(1) 図書室の運営

担当教師の指導を受け、図書委員会が図書の貸し出しにあたる。

貸し出し時間は月曜日～金曜日 12:50～13:20とする。

平常の貸し出しは一人一冊とし、一週間以内に返す。

長期休業中の貸し出しはしない。

図鑑やA4以上の大きい本は貸し出さない。

7月中旬、12月中旬、3月上旬は本の返却のみとする。

(2) 図書室の利用指導

学級活動や教科などの指導と関連させ、図書室の利用の仕方、図書の扱い方を指導する。

借りた本は、図書委員を通して返却手続きをし、代本板を活用して元の場所に返すよう指導する。

(3) 指導内容

	重点指導内容
4月	図書室の利用方法を指導する。 ・ 図書室では静かにさせる。 ・ 本は元の場所に戻す。 ・ 本を折ったり破ったりしないように指導する。 本の借り方返し方を指導する。 ・ 貸出時間は昼休み。 <u>自分の本を持ってきた時の約束を指導する。</u>  ・ <b>借り方</b> 借りたい本の場所に代本板を入れる。 カウンターにいる図書委員に本を渡す。

	<p>図書委員が図書カードを抜くので、学年・組・名前を言ってそのカードに書いてもらう。(貸出日、返却予定日も書き込む。)</p> <p>・返し方(貸し出しから1週間以内に返す)        カウンターにいる図書委員に本を渡す。        学年・組・名前を言う。        図書委員が返却日を書いてブックポケットに図書カードを入れる。        本を元の場所に持って行き自分の代本板と交換する。</p>
7月中	<p>各学級で本の返却状況を確認・把握する。        本の破れ、いたみなどを調べ修繕する。(図書委員会)</p>
8月 12月中	<p>読書カードを書いて読書の習慣化を図る。        ・掲示するなど、本への興味を持たせる。        ・読書感想を自分なりに書けるようにする。</p> <p>各学級で読書カードや読書感想文から進んで読書した子を選び、表彰する。        (図書委員長の名で読書賞を与える)</p> <p>各学級で本の返却状況を確認・把握する。        本の破れ、いたみなどを調べ修繕する。(図書委員会)</p>
1月 3月上	<p>読書カードを書いて読書の習慣化を図る。        ・掲示するなど、本への興味を持たせる。        ・読書感想文を自分なりに書けるようにする。</p> <p>各学級で本の返却状況を確認・把握する。        本の破れ、いたみなどを調べ修繕する。(図書委員会)</p>

(4) 図書室環境

- ・各学級で図書室利用の約束(マナー)を徹底する。
- ・机等を移動した場合は、活動終了後、元に戻す。

(5) 学年文庫の運用について

- ・各学年の廊下に設置している学年文庫の本の管理は各学年が行い、学期に1度、本の整理修繕を行う
- ・代本板を利用し、学級担任が貸し出す。
- ・学年文庫は、その学年に即した本をおき、学年に相応した運営を図る。

(6) その他

- ・保護者の図書ボランティアを募集し、活用していく。